



# 浜家連 ニュース6月号

第238号

2020年6月1日発行

発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会  
事務局 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 番地  
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階  
電話 045(548)4816・FAX 045(548)4836  
URL <http://hamakaren.jp/>

「他者を心の中に住ませる」

副理事長 倉澤 政江

緊急事態宣言が解除され、少し空気が変わりました。一週間といわず状況は次々変わり、3月・4月は遠い過去の様な感覚です。

我家の近くに大型スーパーがあります。スーパー内の薬局・雑貨コーナーを歩きながら今では何事もなかったかの様に大量のトイレットペーパー・ティッシュ類が棚に並べられているのを見て妙に安心している自分がいます。

あのペーパーや食料の買い貯めは何だったのでしょうか。発端はデマだったといいますが、結構長い間、紙類の棚は空っぽでした。「お一人様1個」の紙が貼られ、中には子供まで動員され、ペーパーを抱えて並ぶ多くの人姿を見ると、変に焦る気持ちになり「あれはデマですよ」と小さく呟きつつも不安になりました。

そういえば、東日本大震災の時も米や水が急に無くなったことを思い出し、同じことが繰り返されるのはどうしてなんだろうとボンヤリ考えていた私の傍で杖をついた高齢の婦人が「あら！ティッシュが1つもないの？困ったねえ」とため息をついていました。

非常時には様々な場面で、弱い人にしわ寄せがいくのだな、と何気ない生活の中でも知らされた出来事でした。

先日、NHK ラジオで奥田知志さんの話を聞きました。

奥田さんは、北九州で30年以上路上生活者等の困窮者・孤立者支援をしているNPO「抱撲(ほうぼく)」の理事長で牧師です。

彼はトイレットペーパーが無くなったことについて「他者性」が失われたと言いました。他者性とは「他者を自分の心の中に住ませる、他人の痛みを自分の痛みと感じられるか」ということ。奥田さんは長年の支援経験から「最も弱い他者の側から考え、そこからどれだけ学ぶのか、他者がいないと自己もない」と語っています。

4年前、川崎市に奥田さんと共にホームレスという極限の経験をした人達が語り部として「生笑(いきわら)一座」の、のぼり旗を立てやってきました。過酷な体験談の中、「生きるのはとても大変だ。だがおもしろい。生きていればいつか笑える日が来る。」死の危機を乗り越えてきた当事者のこの言葉は重く、勇気と力をもらったことを今でもはっきり覚えています。

誰かにとって都合の良い自己責任論や生きる価値があるかないかといった不寛容な空気が私達をとりまき、息苦しさの中で生きている今、コロナ禍の後は互いの弱さを認め合い、誰もが助けてといえる世の中になれば、どんなにか生きやすくなることでしょう。

緊急事態発令の4月7日から2ヶ月、派遣・非正規等の不安定な就労をしていた人の多くがコロナ関連解雇や雇止めで住居や仕事を失っています。「いのちとくらしを守る相談会」には窮状を訴える電話が数多く寄せられており、メンタル面でも追い詰められていることは想像に難くありません。見えたものを他人事とせず、他者を心の中に住ませ、私にもできることはないか、と考えているこの数ヶ月です。



不安な時、心が重く沈みそうになった時に参考にした日本赤十字社発行のガイドを紹介します。

○「新型コロナ・ウイルスの3つの顔を知ろう！」一負のスパイラルを断ち切るために一

○絵本アニメ「ウイルスの次にやってくるもの」

日本赤十字社 新型コロナ・ウイルスで検索。日本赤十字社、Good job！

## 浜家連の動き

.....



### ◆令和3年度予算に対する精神保健福祉施策要望書の概要◆

令和3年度予算に対する精神保健福祉施策要望書を各政党に提出しました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、各政党へは要望書の提出だけで懇談会  
は行われませんので、ご承知下さい。

スペースが限られるため、以下に要望書の項目のみを記載します。

#### ■医療費助成の拡充について

1. 重度障害者医療費助成制度の拡充
2. 自治体による医療費助成の格差解消

12. 診断書の無料化

#### ■急を要する福祉人材の確保について

13. 福祉現場の人材不足の解消と支援の質の向上
14. 各区福祉保健センターのMSWの増員

#### ■精神障害者が安心して暮らせる街づくりについて

3. 精神包括ケアシステムの構築推進
4. アウトリーチ事業の推進
5. グループホームの増設
6. 教育・啓発事業の推進
7. 家族への支援強化

#### ■その他切実な要求

15. 発達障害児者の支援体制強化
16. 行動障害、薬物依存症、触法障害者への支援
17. ギャンブル依存症者を増やさない施策
18. 鉄道駅のホームドア設置促進
19. 就労支援強化
20. 成年後見制度
21. 生活支援センターについて
22. 福祉パスのICカード化

#### ■安心して受けられる医療について

8. 長期入院の精神障害者の地域移行促進
9. 身体拘束を必要最小限に
10. 療養病棟の入院患者の生活環境改善
11. 精神医療従事者の職業倫理規範の再考

## 浜家連 第12回通常総会が開催されました

### 浜家連第12回通常総会報告

事務局 中居武司

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、5月29日(金)浜家連第12回通常総会が開催されました。特定正会員の書面表決及び理事3名、書記、議長、議事録署名人、監査による総会の開催という、これまでに経験したことのない形式で行われました。また、理事長をはじめとする役職者を定めるための2020年度第1回理事会も書面表決、6名の理事で行われました。

総会出席者により総会議案及び第1回理事会の書面表決について検証が行われ、検証結果が承認された後、「少人数による総会」が行われました。

「少人数による総会」風景



## 1. 少人数による総会の開催

- ・議長 安富 英世 書記 井汲 悦子
- ・議事録署名人 西川進、杉 美代子

議長から総会が有効に成立していることの旨が告げられ、議案についての審議が始まりました。

### < 議案の審議 >

1号議案から7号議案まで4号議案を除き、報告・説明の後承認を求めたところ、総会及び書面表決により満場異議なく可決・承認されました。

4号議案「2020年度事業計画（案）」については書面表決で反対が1となりましたが、28条2項の規定により原案通り賛成多数で承認可決され、総会議案はすべて可決・承認されました。

### < 議案についての表決結果 >

特定正会員数 89名 回答数 88名（回答率98.9%）

	議 案	賛成数	反対数
第1号議案	2019年度事業報告（案）	88	0
第2号議案	2019年度活動計算書（案） 貸借対照表・預り金（労働預り金） 別途積立金、現金貯金残高一覧表	88	0
第3号議案	2019年度会計監査報告	88	0
第4号議案	2020年度事業計画（案）	87	1
第5号議案	2020年度活動予算書（案）	88	0
第6号議案	役員を選出について	88	0
第7号議案	議長、議事録署名人を選出について	88	0

## 2. 2020年度第1回理事会

- ・議長 安富 英世 書記 井汲 悦子
- ・議事録署名人 西川進、杉 美代子

議案「2020年度役職者の選任について」

議長より、2020年度役職者について提案があり、総会及び書面表決により満場一致で承認可決されました。

### < 議案についての表決結果 >

理事 36名 回答数 36名（回答率100%）

賛成数 36

反対数 0

この結果、2020年度理事長に宮川玲子さん、副理事長に大羽更明さん、稲垣宇一郎さん、倉澤政江さん、井汲悦子さんが選出され、三役体制が決まりました。

## 家族学習会報告

### 家族学習会を実施しました

2015年に4回目の「家族による家族学習会」を実施してから、しばらくと言っても丸3年の空白の後、昨年12月に5回目の家族学習

### さかえ会 高村鈴子

会に取り組みました。担当者は初回からの3名と2名が新しく加わり、この記事を書いている私は運営・資料担当にまわりました。

テキストも新しく変わり、担当者も新体制なので、実施マニュアルの輪読など事前準備会も2回行いました。アドバイザーにも参加して頂き、これから始まる学習会へのアドバイスを受けました。初めて区の広報にも家族学習会参加者募集のお知らせを載せて頂きました。

さかえ会では、今までの参加者は家族会歴が短い方、長い方でももう一度学んでみたいという方々で、ほとんど家族会会員で構成されていました。

しかし、今回は家族会加入者減や高齢化で家族会会員のみで行うことは難しい状態でした。そこで担当者がつながりのある団体に声掛けをして、8名の参加者それも父親4名、母親4名、内ご夫婦2組、家族会会員4名、非会員4名、病名も統合失調症とそうでない方、年齢も担当者よりも一回り若い方半々という構成で実施することになりました。父親の参加、若い方々の参加は今後の学習会開催にとって明るい希望が持てました。

1回目、2回目、どうもかつての学習会と雰囲気が違うのです。リーダー中心に進んでしまったり、担当者が自分の経験を話しすぎたり・・・コリーダーの働きかけが弱いのです。3年という年月が担当者の気持ちを落ち着かせてしまった感じがしました。(実際の担当者の方ごめんなさい。)



以前家族学習会を行った時に、参加者の方から「担当者の方は参加者の話をよく聞いて下さり、決して否定することなく、褒めて、良い所を見つけて、温かく接して下さいました」の感想をいただき、それをアドバイザーの方は「シャワーのように」と表現して下さいました。そこで、3回目の事前打合せで、

「シャワーのように」ゆで卵理論の実践を行おうと話し合いました。おかげで、3回・4回は事前の打合せの効果が反映できたように思います。当事者と向き合いながら今問題に直面している参加者の立場に立ってこれからも進めていくことが大切だと実感しました。

「周りの方々が、丁寧に聞き取って反応して下さいるのがありがたいです。支えられている実感を持つことが出来ます。」「息子の成長を感じるようになった。自分の嬉しさを話すことが出来ました。」「病気のことを話しているのに、笑顔でいられる自分に気が付いた」など感想を伺い、学習会をやってよかったと思いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、生活支援センターが利用できなくなり、5回目を残したまま中断せざるを得なくなりました。状況が落ち着いたら、5回目を実施していきたいと思っています。

### ★新型コロナウイルス感染症に対する措置★

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、以下の措置がとられています。アドレスにアクセスしてみてください。

●精神保健福祉手帳の更新については期間限定で医師の診断書がなくても申請書だけで更新できます(厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000625097.pdf>

●障害年金の更新のための障害状況確認届の提出期限が1年延長されます(日本年金機構)

<https://www.nenkin.go.jp/oshirase/taisetu/2020/202004/0424.html>

【編集後記】今年度の総会は新型コロナウイルスの影響で試行錯誤の末、書面表決という形式で行いましたが、無事終わることができました。皆様のご協力や励ましに感謝申し上げます。

来賓の方や市会議員の先生方が来られなかったのはちょっと寂しい気もしますが、三役体制もできて、2020年度の活動がスタートしました。(事務局 中居)